

# 学力向上アクションプラン

重点取組分野		具体的取組
確かな学力		①主体的・対話的な学びのある授業を展開します。②自ら課題発見をし解決できるような振り返りを授業に組み込みます。③個に応じた指導の充実を図り、課題解決をするための基礎的基本的な学力の定着に努めます。
担当	まなび部会	

### 学力向上に関わる本校の状況

(1) 学力にかかわる児童の実態  
横浜市学力・学習状況調査の結果、学習意識が2, 3年生で低くなっている。例年度と比較できる学年については、学力、生活意識ともほぼ横ばいで推移している。

(2) これまでの子供の取り組みの状況  
○「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指し、児童の実態や学年の系統性を考え、児童主体の授業づくりに努めた。  
○学習状況調査を分析すると共に、教材を統一するなど、指導に一貫性ができるようにした。  
○40分授業、教科担任制などの取組を行い、児童が集中して学び、より専門的な指導を受けられるように改善を行うことができた。

### 今年度の目標

- 様々な場面で子どもが自己表現できる授業を展開します。
- 自らの課題を捉えられるよう振り返る時間を設け、対話を通して解決できるよう支援します。
- 個に応じた指導の充実を図り、基礎的基本的な学力の定着に努めます。

### 目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<p>(1) 40分授業制や教科担任制による学力向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○40分授業制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画に沿って指導が行えるよう、週案の形式を工夫する。</li> <li>・示範授業や校内重点研などの授業公開の際に、「40分授業を効果的に行うために」という視点を設け、40分授業における効果的な指導技術を共有する。</li> </ul> </li> <li>○教科担任制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任制委員会の中で、各教科における指導の流れやポイント、指導技術などを共有し、より専門的な指導を行うことができるようにする。</li> <li>・教科担任制が計画的かつ効果的に実施できるよう、特別配当教室を工夫する。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 横浜市学力・学習状況調査を分析し、指導に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市学力・学習状況調査を学年で分析し、課題を把握する。</li> <li>・課題を解決するための目標や具体的手立てを立て、校内授業研究等の機会を生かして実践する。定期的に学び部会を中心に実践報告を行うなどし、課題や手立て、効果などを確認する。</li> </ul>
下半期	